

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	:	パーツクリーナー 粉末 漬け置きタイプ
会社名	:	株式会社MonotaRO
所在地	:	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	:	商品お問合せ窓口
電話番号	:	0120-443-509
FAX番号	:	0120-289-888
緊急連絡先	:	所在地と同じ
整理番号	:	M241107

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	分類対象外
	可燃性ガス	分類対象外
	エアゾール	分類対象外
	酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性ガス	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類対象外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
	急性毒性（吸入：粉じん）	区分外
	急性毒性（吸入：ミスト）	区分外
	皮膚腐食性／刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分外
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分2（全身）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分外
環境に対する有害性	誤えん有害性	分類できない
	水生環境有害性 短期（急性）	区分2

水生環境有害性 長期（慢性）
オゾン層への有害性

区分外
分類できない

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

- ・重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷（H314、皮膚腐食性／刺激性 区分 1）
- ・重篤な眼の損傷（H318、眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 区分 1）
- ・全身臓器の障害のおそれ（H371、特定標的臓器毒性（単回ばく露）区分 2）
- ・水生生物に毒性（H401、水生環境有害性 短期（急性） 区分 2）

注意書き：

【一般】

- ・医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。（P101）
- ・子供の手の届かないところに置くこと。（P102）
- ・使用前にラベルをよく読むこと。（P103）

【安全対策】

- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。（P260）
- ・取扱い後は手をよく洗うこと。（P264）
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。（P270）
- ・環境への放出を避けること。（P273）
- ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。（P280）

【応急措置】

- ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。（P301＋P330＋P331）
- ・皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。（P303＋P361＋P353）
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。（P304＋P340）
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。（P305＋P351＋P338）
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。（P308＋P311）
- ・直ちに医師に連絡すること（P310）
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。（P363）

【保管】

- ・施錠して保管すること。（P405）

【廃棄】

- ・内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。（P501）

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分及び含有量：

成分	含有量(%)	化審法 No.	CAS. No.	備考
非イオン界面活性剤	5.0～15.0	登録済み非開示	登録済み非開示	
ドデシル硫酸ナトリウム	1.8	2-1679	151-21-3	PRTR 法対象物
エチレンジアミン 4 酢酸ナトリウム塩	45.0	2-1265	13235-36-4	PRTR 法対象物
硫酸塩	15.0～25.0	登録済み非開示	登録済み非開示	
炭酸ナトリウム	10.0～20.0	1-164	497-19-8	労安衛規則皮膚等障害化学物質
防錆剤	10.0 以下	登録済み非開示	登録済み非開示	

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚を速やかに洗浄すること。
医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣服を脱ぎ、再使用する前に洗濯すること。
- 眼に入った場合 : 水で 15 分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外すこと。
その後も洗眼を続けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせず、口を水ですすぐこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- 予想される急性症状 : 眼に付着した場合、直ちに洗眼しないと失明の危険がある。
- 及び遅発性症状 : 皮膚に付着した場合、直ちに洗浄しないと皮膚炎を引き起こす危険がある。
- 最も重要な兆候及び症状 : 知見なし。
- 応急処置をする者の保護 : 知見なし。
- 医師に対する特別な注意事項 : 知見なし。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂
- 使ってはならない消化剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性 : 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具及び緊急漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしないこと。
- ・直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離すること。
 - ・関係者以外の立入りを禁止すること。
 - ・作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸引を避けること。
 - ・漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用すること。
 - ・適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れないこと。
 - ・少量の場合はウェス等で拭き取ること。
 - ・多量の場合は、土砂等で流れを止め、出来る限り回収し、残分はウェス等で拭き取ること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 眼、皮膚及び作業員との接触を避ける。スプレー状で使用する時は、風上に立って作業する。取扱い後は、手洗い洗顔を十分に行うこと。
- 保管 : 子供の手の届かないところに施錠して保管すること。
袋は、チャックで密封して保管すること。
直射日光の当る所、温度が 40℃以上又は 0℃以下の所、水のかかる所、湿気の多い所は避けること。
車載保管しないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度 : 設定されていない
- 設備対策 : 取り扱い場所近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示すること。
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 防塵用マスク
 - 手の保護具 : 不浸透性のゴム手袋

眼の保護具 : ゴーグル型一眼眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性の作業着、ゴム長靴、ゴム前掛け等を使用

9. 物理的及び化学的性質

外観・臭気	:	淡白色～白色の粉末で、特異な弱い臭気を有する。
pH (10%/1%)	:	約 11.4 / 約 11.1
粘度 (25℃)	:	データなし
沸点	:	データなし
揮発性	:	データなし
引火点	:	データなし
発火点	:	データなし
爆発範囲	:	データなし
可燃性	:	データなし
見掛け密度	:	約 0.79
溶解性 (水)	:	5～10%ほとんど溶解、1%以下で完全溶解する。

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の状態では、熱、光、衝撃に対して安定である。

反応性 : 他のものと接触が無ければ通常の状態では、危険な反応はない。酸化剤との接触で爆発を起こす恐れがある。

避けるべき材質 : 知見なし

11. 有害性情報

急性毒性	:	データなし
皮膚腐食性／刺激性	:	データなし
眼に対する重篤な損傷／刺激性	:	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	呼吸器: データなし 皮膚: データなし
生殖細胞変異原性	:	データなし
発がん性	:	データなし
生殖毒性	:	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）:	:	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）:	:	データなし
誤えん有害性	:	データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）： データなし
水生環境有害性 長期（慢性）： データなし
オゾン層への有害性 ： データなし

13. 廃棄上の注意

内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。
 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険、有害性を十分告知の上処理を委託すること。

14. 輸送上の注意

注意事項：取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

国内規制：

陸上輸送 : 消防法、労安法等に定められている運送方法に従うこと。
海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従うこと。
航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 皮膚等障害化学物質(労安衛規則第 594 条の 2) : 炭酸ナトリウム、ドデシル硫酸ナトリウム
消防法 : 該当なし
毒物及び劇物取締法 : 該当なし
P R T R 法 : No. 1-080 エチレンジアミン 4 酢酸ナトリウム塩
No. 1-318 ドデシル硫酸ナトリウム

16. その他の情報

主な引用文献 :

1. 各原料メーカーの MSDS、SDS
2. 安全衛生情報センターMSDS、SDS
3. JIS Z 7252、 JIS Z 7253
4. その他法規

記載内容の取扱い : 記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。